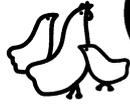


バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

昨年は女性部への協力ありがとうございました。

今年もよろしく願います。

愛知県職連合女性部しんぶん



あゆむ

第347号 (2023年1月)

発行 県職連合女性部

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1

直通 052(951)4036

FAX 052(972)0649

FAXフリーファクス 0120(930)340

http://www.aichikenshoku.gr.jp

E-mail josei21@aichikenshoku.gr.jp

発行責任者 井上陽子

第17回 女性部定期大会

女性が安心して能力を 発揮できる仕組みや環境を



代議員定数109名 出席17名 委任状77名 欠席15名

12月14日(水)、名古屋都市センターにて、県職連合女性部第17回定期大会を開催しました。
大会では山崎女性部長のあいさつに続き、2022年度活動報告と2023年度活動方針の提案があり、賛成多数で承認されました。

女性部長あゆむ



山崎女性部長

行革による人員削減が進みどの職場も人員

不足である中、新型「コロナ」の対応も3年目となりました。12月に入ってから、11年ぶりに鳥インフルエンザが発生し、県を挙げての対応ということで、私たち女性職員も多く動員されています。

女性部の活動が始まった昭和の時代を思えば、女性職員を取り巻く環境は大きく改善していますが、真の男女平等はまだ遠い状況です。

性別の違いによって生じる様々な格差を経済・教育・健康・政治の4つの分野から点検した「ジェンダーギャップ指数」が毎年発表されていますが、今年の7月に公表されたランキングでは、日本は146か国中116位と極めて低い順位でした。

日本は、経済と政治の分

野で格差が大きくなっています。経済分野の項目には管理職の男女比があります。格差解消のためには、女性をただ管理職にすればいい、という問題ではありませぬ。女性が安心して能力を発揮できるような仕組みや環境を社会全体で整えていくことが必要です。

各家庭において、家事や育児、介護を男性よりも女性が負担しているケースが多い中、残業が続いたり、今回のように突然動員がある、対応できない方や、周囲への影響や負担が大きくなります。女性の場合は周期的な体調不良などもあり、女性が安心して仕事を続け、活躍するために、組合が果たす役割は大きいと改めて感じました。

女性部は皆さんの声を聞き、当局に伝え、女性組合員が、健康に楽しく働き続けることができるよう、今後も皆さんと一緒に取り組みを続けてまいります。

2023年度 活動方針 (抜粋)

運動の基本目標

- ①「女性の要求」の実現に取り組みます。
- ② 女性組合員の声を大切にします。

組織活動の基本的方向

- ①すべての女性組合員が参加できる女性部をめざします。
- ②組織を強化し、組合員の

運動の具体的な進め方

- ③学習・教育活動を重視し、交流をすすめます。



議案を承認する代議員

女性は職場の重要な人材として、働いています。女性組合員の生活、権利の向上や職場環境の改善などをめざして、県職・病院組合の本部と連携し、支部や分会を大切にして活動を行います。

○「女性の要求」の実現に向けて

女性の視点からの要求を反映させるため、「女性の要求」討論資料を作成し、組合本部の総合要求、職場要求に積極的に取り組むよう周知することにも、女性組合員一人ひとりが参加できる取り組みをすすめます。

○安心して働き続けられる賃金・労働条件の確立と男女平等をめざして

- ・時間外勤務の縮減に向け取り組みます。
- ・女性の健康と母性保護、育児に関わる権利の充実にむけて取り組みます。
- ・介護にかかわる制度の充実に取り組みます。

○組織強化・交流を深める取り組み

- ・昇任昇格における男女間の格差の解消にむけて取り組みます。



答弁する執行部

- ・役員学習講座を開催します。
- ・分会女性集会在開催でき

意見交換・質疑応答

●レクや学習会、職場での昼食会など女性部の活動によって自分としては安心して働いていると感じる。女性部が女性の小さな声を拾ってくれることに感謝している。

【本部】女性組合員同士が交流できるよう引き続き取り組んでいきたい。

●病院職場では男女の格差というものはあまり感じないが、息抜きなどでレク等を開催していただくとありがたい

【本部】コロナによる規制が緩やかになればバスレク等を開催したい。

●産休・育休の際の引継ぎが書面では十分でないと感じる。対面でできないか。

【本部】県当局に対し、要求していきたい。継続的に意見を出してほしい。

訂正

あゆみ346号「人事課との意見交換会」において、訂正がありましたのでお知らせいたします。

◇生理休暇の取得単位について、人事課からの回答(誤) 矛盾については承知しているが、ご理解いただきたい。

正) 生理休暇の趣旨を踏まえ、不安がある場合は1日休暇を取得し、体調面に配慮していただきたいと考えている。

るよう援助します。

- ・女性部のあり方について、本部・支部等で話し合う機会を作ります。
- ・幅広い年代の女性が学び、交流できる場として、学習会や女性交流レクリエーションなどの事業を実施します。
- ・女性組合員の学習・交流の場として、機関紙「あゆみ」を発行します。

新任役員紹介

微力ですが、女性ひとりひとりの意見を聞き、働きやすい環境づくりのお役に立てるよう頑張りたいと思います。一年間よろしくお願いします。
事務局長 水野 睦実

令和になってから異動により女性部に関わりはじめて、今年度は女性部長を拝命いたしました。整いつつある制度に運用をうまく追いつかせるにはどうしたらよいか、役員はじめ皆様のお知恵を拝借しながら、職場で笑顔でいられるように力をつくせたらと考えています。どうぞよろしくお願いします。
女性部長 井上 陽子

組合員の皆様のお役に立てるよう、精一杯努めたいと思います。よろしくお願いします。
常任委員 大橋 里帆

微力ではありますが、女性が働きやすい環境づくりにお力添えできればと思います。どうぞよろしくお願いします。
常任委員 川野 真央

皆さんが元気で楽しく仕事ができるよう、自分に来ることは何か考えたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
常任委員 山田 優実

女性組合員の皆様のお役に立てるよう、微力ですが、頑張ります。よろしくお願いします。
常任委員 白鳥 浩美

微力ではありますが、常任委員として、女性が働きやすい職場環境づくりのために皆様と協力していきたいです。一年間よろしくお願いします。
常任委員 朝見 留衣

常任委員3期目を務めます。コロナ禍が続いていますが女性部の活動を盛り上げ、微力ではありますがお役にたてるよう頑張ります。
常任委員 藤田 翔子

副部長として、役員の皆さんと協力し、レクや学習会など女性部の活動を盛り上げていきます。よろしくお願いします。
副部長 嘉津山 瑞恵

微力ではありますが、役員の皆様と協力して頑張りたいと思います。
常任委員 清水 佐織

出来る範囲で参加させて頂ければと思います。一年間、よろしくお願いします。
常任委員 浅野 春香



女性部の役員って何をやってるの？



☆最後に、「女性の要求」の取り組みについてお話しします。

女性組合員の意見を集約し、人事課に女性組合員の現状を伝える取り組みです。

毎年、「女性の要求」の案を作成するところから始まります。6月後半からの分会女性集会での討論資料となります。

継続要求が多いため、主に前年の要求を基に、最近の状況を勘案して「案」とします。常任委員会での議論が基本ですが、今年は6月初めに部長、副部长、事務局長の三役で話し合い、新設された出生サポート休暇などの質問事項を設けて「女性の要求(案)」としました。

そして分会女性代表の皆さん

に分会女性集会の開催と意見集約をお願いし、137所属から集まったご意見をA3の表にすると実に21ページ分になりました！

三役は、ご意見のすべてに目を通し、特に多くの皆さんから要求や意見があった事項を要求事項に加えて常任委員に確認し、「2022女性の要求」としました。

10月に開催された人事課との意見交換会では、普段の業務とは異なる雰囲気緊張しつつ、出席した役員全員が「女性の要求」を基に、皆さんからの声を伝えました。1時間という限られた時間のため、十分とは言えませんが、女性組合員の生の声を届けることができる大切な機会だと思えます。

5か月に渡る「女性の要求」の取り組みは一旦終了ですが、2023年度以降も「女性の要求」の取り組みは続きます。より多くの意見を要求に反映できるように検討を始めています。2023年度も、皆さんのご意見をお待ちしています！

2022年度 退任役員

12月14日の女性部第17回定期大会をもって、2022年度の役員が退任いたしましたのでご紹介いたします。

1年間本当にお疲れ様でした！

- ★女性部長 山崎 真弓
(名古屋東部県税事務所)
- ★副部长 小林 雅子
(がんセンター)
- ★常任委員 近藤 佳奈
(建築指導課)
- ★常任委員 三枝 愛理
(生活衛生課)
- ★常任委員 野村 由美
(医療療育総合センター)
- ★常任委員 飯田 順理
(江南保健所)

- ★常任委員 長屋 由紀子
(知多農林水産事務所)
- ★常任委員 上田 美幸
(西尾保健所)
- ★常任委員 柴崎 ちか子
(新城設楽福祉相談センター)

